

映画祭2017ボランティア大募集



やまがた市民映画学校 × 金曜上映会
懐かしい山形とシネマ通り
ボランティア説明会開催
金曜上映会
ほか

Jun.

67

Jul.

2017

www.yidff.jp

第1回
懐かしい山形とシネマ通り

山形市創造都市推進事業 やまがた市民映画学校

山形県フィルムライブラリー
金曜上映会

出張版

映画についてより深めるきっかけを作り、映画について語り合う、『やまがた市民映画学校』。本年リノベーションによって生まれ変わった、歴史ある文化サロン「郁文堂書店」で、昭和30年代の広報映画の上映とトークを開催します。



山形市広報ニュース
No.1, No.2

製作:山形市/1959/16mm/22分

四季のたより

製作:山形市/1960頃?/16mm/21分

6月23日 **金** 18:30 (18:00開場)

郁文堂書店(山形市七日町シネマ通り)

入場無料

主催:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
共催:郁文堂書店

「金曜上映会」は、山形国際ドキュメンタリー映画祭が主催し、フィルムライブラリーで開催している定期上映会(ウラ面参照)。今回は郁文堂書店での出張開催です。

次号発行は
6月1日

編集・発行:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
〒990-0044 山形市木の実町9-52 木の実マンション201
Phone:023-666-4480 Fax:023-625-4550
E-mail:info@yidff.jp ウェブサイト:www.yidff.jp
印刷:大場印刷株式会社

山形国際ドキュメンタリー映画祭

ボランティア大募集!

ひと味違った映画祭の楽しみ方のご提案。山形国際ドキュメンタリー映画祭にボランティアとして参加してみませんか? 毎回各方面から絶賛されているのがボランティアさんの力による、あたたかい手づくり感覚です。国際映画祭の雰囲気と、新しい出会い、楽しい交流。みなさんの参加をお待ちしています。今年も一緒に映画祭を盛り上げていきましょう!

2017 10月5日[木]—12日[木]



たとえば...

- 【会場】会場の飾り付け、チケット販売、場内整理・誘導など
 - 【ゲスト・サポーター】ゲストの出迎え、見送り、随行など
 - 【広報】ポスター掲示、テレビ・ラジオ出演など
 - 【デイリーニュース】公式日刊紙の取材・編集
 - 【香味庵クラブ】毎回大好評の交流の場「香味庵」の運営
 - 【司会進行】メイン会場での質疑応答の司会進行
 - 【市民賞】観客の投票によって決められる市民賞の運営
 - 【同時通訳機操作】字幕のない映画に専用機器で通訳音声をつける仕事
 - 【パーティー運営】表彰式後の夜に開催するフェアウェル・パーティーの運営
- 詳しくは説明会で!



ボランティア説明会

7月9日[日]、8月6日[日] 15:00, 19:00

山形市総合福祉センター3F 会議研修室1

(霞城公民館北隣)

7月30日[日] 15:00, 19:00

霞城セントラル(山形駅西口)23F

市民活動支援センター 高度情報会議室

※駐車券は発行されませんので、ご了承下さい。

1時間程度の説明会です。どの回も内容は同じです。初めて参加される方や検討されている方は必ず説明会にご参加下さい。事前申込は不要です。※会場が変更となる場合があります。映画祭Webサイトでご確認の上、ご参加下さい。

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー 金曜上映会

6月23日[金]に「出張版」を郁文堂(山形市シネマ通り)で開催(詳細オモテ面)。6月のライブラリーでの金曜上映会は、9日[金]のみです。

6.9
金 Fri

〈闘いと祈り〉

14:00, 19:00 (2回上映)

私の非情な家

YIDFF 2015 アジア千波万波

日本映画監督協会賞

監督:アオリ/韓国/2013/ビデオ/75分



16:00 (1回上映)

七度目の祈り

YIDFF 2015 アジア千波万波

監督:ヴァルン・トリカー/インド/2014/ビデオ/27分

家庭内性暴力について父親を提訴することになった女性が、監督とともに家父長制という小さな王国の聖域に踏み込む、韓国の『私の非情な家』。「欲望」を語るインドの古典詩に「女たちの空間」を見だし、時を超えて詩と対話を試みる『七度目の祈り』。

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

山形国際ドキュメンタリー映画祭が始まった1989年から前回2015年に応募された、世界中の「ドキュメンタリーの目」が見つめ記録した10,000本以上の映画をビデオブースで視聴することができます。

山形市平久保100 山形ビッグウイング3F

開館時間: 10:00-17:00

休館日: 月・火曜(祝日を除く)、年末年始



山形国際ドキュメンタリー映画祭が2回開催している定期上映会です。会費や入会金などは不要です。

鑑賞会員無料(当日受付にてご入会下さい)

会場: 山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー(山形ビッグウイング3F)

7.14
金 Fri

〈いつもそこにあるもの〉

14:00, 19:00 (2回上映)

いつもそこにあるもの

YIDFF 2015 インターナショナル・コンペティション

監督:クロエ・アンゲノー、ガスバル・スリタ
フランス/2015/ビデオ/79分



15:40 (1回上映) 家族のかけら

YIDFF 2013 インターナショナル・コンペティション

監督:ディエゴ・グティエレス/オランダ、メキシコ/2012/ビデオ/83分



ナポリの4世代からなる女ばかりの一家が暮らす部屋で、平穏な日常から魅力あるドラマが形づくられる『いつもそこにあるもの』。メキシコシティ郊外の壮麗な邸宅を冷たい牢獄のようにしてしまつた夫婦のほろ苦く切ない愛の軌跡を息子が描く『家族のかけら』。

7.28
金 Fri

〈旅する視線:インド〉

14:00, 19:00 (2回上映)

わたしはまだデリーを見ていない

YIDFF 2015 アジア千波万波特別賞

監督:フマイラ・ビルキス
バングラデシュ、インド/2014/ビデオ/19分



井戸の上の眼

YIDFF '89 インターナショナル

・コンペティション優秀賞

監督:ヨハン・ファン・デル・コイケン/オランダ/1988/16mm/91分



映画を学ぶためにデリーで一人暮らしを始めたバングラデシュの監督による短編『わたしはまだデリーを見ていない』。著名な写真家としても知られるオランダの監督がケララ地方を旅し、美、伝統、知識、支配について描く『井戸の上の眼』。インドを旅する2作品。

はたらく実習 中学生職場体験

5月9日[火]-11日[木]



今年度は、山形市立第三中学校の2年生3名の職場体験を受け入れました。上映会場の設営、映画試写、金曜上映会のチラシづくり、映写機の操作やフィルムの取扱いなどを体験してもらいました。

フィルムを捨てないで!「懐かしい」を未来へ!

ご自宅や倉庫に眠っているフィルムはありませんか? ご家庭で撮られたホームムービーや市町村の広報映画などには、当時の生活や歴史の足跡が映り込んでいます。映写機がない、何のフィルムか分からないなどありましたら、映画祭事務局(023-666-4480)にご相談下さい。手遅れになる前に、「懐かしい」を未来へ!

(山形国際ドキュメンタリー映画祭情報発信中)

twitter: @yidff_8989 facebook: @yidff

メールマガジン「YIDFFニュース」(毎月1回)

www.yidff.jp/news/subscription

ラジオモンスター 76.2MHz『モンブラン』内(毎月2回)

認定NPO法人

山形国際ドキュメンタリー映画祭をご支援下さい

寄付をする

山形国際ドキュメンタリー映画祭は「認定NPO法人」です。認定NPO法人に寄せられた寄付金には、寄付金控除などの税の優遇措置が講じられ、寄付を行なう側、受ける側、双方に有利になります。映画祭や上映活動の継続、新しい事業へのチャレンジをご支援下さい!

会員になる

山形国際ドキュメンタリー映画祭を継続的に応援して下さる方のための「応援会員」制度です。正会員と賛助会員の二種類がございます。年齢、国籍、個人、団体を問わず、本法人の活動にご賛同いただける方であれば、どなたでもご入会いただけます。

・**正会員**は、当法人の総会での議決権を持ち、定期的に内部から映画祭を支える制度です。ご意見をいただきながら、ともに山形国際ドキュメンタリー映画祭を作っていくこととなります。

・**賛助会員**はサポーターとして資金的に支えていただく制度です。総会での議決権は持ちませんが、いただいた会費は寄付金控除の対象となります(正会員会費は寄付金控除の対象となりません)。

	正会員	賛助会員
総会での議決権	あり	なし
会員期限	4月1日~翌年3月31日 (会員期限、会費は同じ)	途中入会可 入会より1年間
会費	【個人】1口: 10,000円 【団体・法人】1口: 30,000円 (1口以上何口でも構いません)	

※会員特典、寄付金の活用など、映画祭を「支援する」ことに関する詳細はこちら

<http://www.yidff.jp/support>